

各位

筑波大学附属高等学校長 校長 藤生 英行

第73回 高等学校教育研究大会のご案内

秋麗の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、下記の通り第73回高等学校教育研究大会を開催いたします。4年ぶりとなる対面での公開授業をご覧頂き、その後の分科会では皆様からのご意見を多数頂戴して、議論を深めたいと考えております。また、分科会后、昨年度より始めました教科を超えた情報交換会の場を設けます。各テーマについて、各校での取り組みやノウハウを共有できれば幸いです。

ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 主催：筑波大学附属高等学校
2. 期日：2023年12月2日(土)
3. 会場：筑波大学附属高等学校 東京都文京区大塚 1-9-1
4. 参加申込・申込方法
 - ・ 参加には事前の申し込みが必須です。
 - ・ 申し込みは、本校HPからのみで、支払いにはパスマーケットをご利用いただきます。
 - ・ 11月1日(水)0:00から11月27日(月)23:59までに、本校HPよりお申し込みください。
<http://www.high-s.tsukuba.ac.jp/>
[筑波大学附属高等学校] → [教育研究/研修] → [研究大会] → パスマーケットへのリンク
 - ・ 「一般」、「学生」、「本校旧教職員」、「全附連教員」、「筑波大学教職員」から、該当するボタンをクリックしてください。
 - ・ 参加者氏名、所属(学校名、機関名等)、参加する教科・科目、情報交換会のテーマをご入力ください。
 - ・ 同じ学校・機関から複数参加する場合も、申し込みは1人ずつお願いします。
5. 参加費：1,000円
 - ・ 領収証は大会当日にお渡しします。
 - ・ 申し込み後の参加費の返金は致しかねます。ご了承ください。
6. 入校方法
 - ・ 校門を入れてすぐの受付テントにて、氏名の記載されたパスマーケットのチケット画面(または印刷したもの)をご提示ください。
 - ・ 受付にてお渡しするカードにお名前をご記入いただき、ホルダーに入れて、常時首におかけください。ホルダーは、お帰りの際、校門手前の回収箱にご返却ください。

7. 注意事項

- ・ご参加の皆様による当日の録画・録音・写真撮影はご遠慮ください。
- ・お弁当の販売はいたしません。昼食をご用意ください。
- ・研究大会に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします。

筑波大学附属高等学校 研究教職部

E-mail:kenkyu@sgh-tsukuba.org Tel : 03-3941-7176 (代表)

8. 時程

時間帯	内容	国語	地歴・公民	数学	理科	保健体育	外国語	芸術
9:30 10:00	受付							
10:10 11:00	公開授業Ⅰ	現代の国語 1年生	公共 1年生	数学Ⅲ 3年生	物理基礎 2年生	体育 1年生	英語コミュニケーションⅠ 1年生	美術 【動画】 2年生
11:20 12:10	公開授業Ⅱ 分科会	分科会	分科会	数学Ⅱ 2年生	分科会	分科会	英語コミュニケーションⅠ 1年生	分科会
	昼食・休憩							
13:10 15:00	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会
15:10 16:00	情報交換会	ICTを活用した授業改善、主体性を育むには、部活動と働き方改革、学校行事の課題、総合的な探究の時間						

9. 公開授業

教科	科目	学年	授業担当者	授業テーマ
国語	現代の国語	1年生	赤松 幸紀	合意形成の手法を批評的に学ぶ
地歴・公民	公共	1年生	熊田 亘	租税制度を設計する
数学	数学Ⅲ	3年生	山田 研也 三輪 直也	積分法（微分方程式）
	数学Ⅱ	2年生	大堀 健吾	三角関数の応用
理科	物理基礎	2年生	勝田 仁之	物理教育研究の成果を取り入れたエネルギーの授業
保健体育	体育	1年生	征矢 範子	トップスピードで受け渡すバトンパスの授業
外国語	英語コミュニケーションⅠ	1年生	高木 哲也	題材理解から自己表現につながる授業を目指して
		1年生	物井 真一	
芸術	美術	2年生	小松 俊介	南極授業「アートを通して南極とつながる」 【2023年1月実施時に録画したもの】

10. 情報交換会

- ・ICTを活用した授業改善
- ・主体性を育むには
- ・部活動と働き方改革
- ・学校行事の課題
- ・総合的な探究の時間

*申し込みの際に参加希望テーマをご登録下さい。

11. 教科分科会のテーマと内容

国語 学びの系統性から考える新科目～「言語文化」「現代の国語」を中心に～

新科目が始まって2年目、コンピテンシーベースの学びの設計、現古漢の素材のレイアウト、探究的要素の組み込み方など、様々な課題に向けて試行錯誤の日々が続いています。そこで今回は、「これまでの国語総合をどう組み替えるか」という横の視点ではなく、「中学の学びや上位科目との接続をふまえてどう高度化するか」という縦の視点で捉え、科目のデザインとその位置づけについて参加者の方々と一緒に考えていきたいと思ひます。

地歴・公民 地歴公民科の授業において学びが深まる場面とは

「主体的・対話的で深い学び」との表現があるが、どのような場面において生徒の思考や認識は深まっているのだろうか。レクチャー一辺倒が忌避されるようになって久しいが、例えば、活発なグループワークが展開する最中に、個々の生徒の思考が深まるタイミングは存在するのか。授業後の生徒の感想にしばしばみられる「周りとの意見交換することで自分の意見をより深めることができた」といった記述を信じていいのだろうか。参加されるみなさんと一緒に具体的な場面に言及しつつ考えていきたい。

数学 探究的な学びを取り入れた授業についての研究協議

ICTを活用したり、協働的な学びを取り入れたりして、探究的な学習活動が可能な授業とはどのようなものであるのかについて、公開授業を踏まえながら、参加者の皆様からのご意見をいただいたり、情報交換をさせていただきたいと思ひます。

理科 物理教育研究の成果は、生徒に受容・獲得されたか

授業者は年間を通じて、国際的な物理教育研究の成果を授業実践に反映させている。例えばエネルギー概念の獲得には、「系の選択の明示」「多様表現の活用」が有効であることが知られており、授業にも導入している。公開授業では「棒高跳び」を題材に、エネルギーの課題を扱う。生徒たちがどのように思考するかを、参加者とともに観察する。さらに分科会で、上記の研究成果が、実際に受容・獲得されているかを議論したい。その後、物化生地、科目ごとに分かれての協議も行う。

保健体育 体育授業におけるコミュニケーション ～Z世代に焦点を当てて～

スポーツ場面で他者との関わりは必然であり、その意義はコロナ禍を経て再確認されています。しかし、Z世代と呼ばれる若者のコミュニケーション方法はデバイスを介すなど、良くも悪くもスポーツ場面とは異なるように感じます。分科会では、現代の高校生世代の特徴を踏まえて、体育授業の効果がより高まるような関わり方や雰囲気作り、生徒の心にやる気の火をつける方法を、「思考力・判断力・表現力」の観点から考えたいと思ひます。

外国語 学びの振り返りを促す手立て

新学習指導要領では、生徒が積極的に学習に取り組むだけでなく、これまでの学習を自ら振り返る側面（自己調整学習）が重要視されています。検定教科書の題材を扱った英語の授業の中で、どのような場面で効果的に生徒自身による学びの振り返りを促すことができるのか、参加者の皆様と情報交換や議論を行いたいと思ひます。

芸術 美術科からアプローチする南極授業・国語科との教科横断の実践

—南極をテーマとした絵本制作—

第64次南極地域観測隊に教員派遣として参加し、昭和基地と勤務校を繋いでおこなう“南極授業”を高校美術の授業で実施しました（2023年1月28日）。分科会では、南極授業をつくる視点で得られた「美術の教科特性や教科横断の可能性」についてご報告するとともに、参加者を交えた質疑応答や意見交換の場とする予定です。美術以外の教科の方、南極へ行ってみたい方もこの機会にぜひご参加ください。

以上

